

公認心理師国家試験受験資格のための大学における科目について

124S

心理福祉学科では、心理学の援助技術を習得して心理専門職に就くことを希望する者のために、公認心理師国家試験受験資格の取得に必要な「大学における公認心理師となるために必要な科目」を開講している。(下表「大学における必要な科目との対比表」参照)。

上記受験資格取得希望者は、以下の条件を充足することが求められる。

※なお、国家試験受験資格取得のためには、下記の条件を充足したのち、大学院において定められた科目を履修するか、または厚生労働省の定める施設で一定期間以上の実務経験を経ねばならない。

[大学における必要な科目との対比表]

大学における必要な科目	授業科目	単位数	対象学年	備考
1	公認心理師の職責	2	2	
2	心理学概論	4	1	
3	臨床心理学概論	2	2	
4	心理学研究法	2	1	
5	心理学統計法Ⅰ	2	1	
6	心理学実験	2	2	人数制限科目
7	知覚・認知心理学	2	1	
8	学習・言語心理学	2	1	
9	感情・人格心理学	2	1	
10	神経・生理心理学	2	2	
11	社会・集団・家族心理学	2	1	
12	発達心理学	2	2	
13	障害者・障害児心理学	2	2	
14	心理的アセスメント	2	2	人数制限科目
15	心理学的支援法	2	3	
16	健康・医療心理学	2	2	
17	福祉心理学	2	3	
18	教育・学校心理学	2	2	
19	司法・犯罪心理学	2	3	
20	産業・組織心理学	2	2	
21	人体の構造と機能及び疾病	2	1	
22	精神疾患とその治療	4	2	
23	関係行政論	2	2	
24	心理演習★	2	3	履修制限科目
25	心理実習★	3	3	履修制限科目

★印：これらの科目の履修者の決定のために、2年次に選考試験を実施する。

また、入学時から2年次秋学期修了までのGPAが別に定める基準を満たしていなければ、3年次以降、これらの科目を履修することはできない。

注1) これらの科目は、原則として対象学年開始時に履修・修得していなければならない。

注2) 「心理実習」の履修者は、2年次秋学期修了までに履修機会が1回以上あった講義科目の単位を修得し、且つ「心理演習」を履修したものに限る。

注3) 「心理実習」の実習費は、心理実習履修年度に一括して徴収する。